

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年3月1日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	9	1		13人

前回の改善計画  
新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送り、初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送り、見たらサインするシステムを継続する。情報が不十分なことは前提なので関わりながら新しい情報を得ていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送っている。初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送り、関わりながら得た新しい情報はツールを使い職員間で共有していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	10	1		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	2		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	5			13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	2	2		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
①①初期支援は利用者の負担にならない程度に声かけやコミュニケーションを取ることができている。連絡ノートやお試し利用で情報を得ることができる 4  
新規利用者の個人データを共有しわからないことはその都度聞いている。 3  
ミーティングにて利用者の情報、注意点を共有している。  
②個別対応している  
③新規の利用者に対して、こまめな声かけや情報収集のための対応や共有するための努力ができている  
慣れていない時期には個人に合わせてサービスを組んでいる。  
不安を与えないよう日頃から声かけをしている。 2 訪問や通いでの声かけ、気遣い、気配りはできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
①①始業前に連絡ノートを読みようとしても、利用者や職員に声をかけられその後見ることを失念して業務に入ってしまうことがある。 3  
情報交換はしているが、「この時はどうすればいいか」がわからないことがある。  
完全には把握できない。  
情報を取りに行かないと提供されない。ケアマネの情報収集不足。必要な情報を理解していない。  
他部署の利用者の場合、夜の様子はデイでわからないにしても、例えば入浴や日中の、習慣等の細やかな所の情報がわかるとケアに入りやすいし、同じ喜楽を利用しているのだから使えるものは使い、共有した方がいいと思う。  
新規の方を見る夜勤者の気持ちをわかっていないのでは?

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
新規利用者の個人データなどの情報、口頭連絡ノートなどで情報を送り、見たらサインするシステムを継続する。関わりながら新しい情報を得ていく。法人内事業所間で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年3月1日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	5	7	1	13人

前回の改善計画  
利用者本人の具体的なゴール (〇〇したい、こうなりたい) を知り、それに近づける支援を考える。

前回の改善計画に対する取組み結果  
日頃のかかわりから本人の「〇〇したい」を聞き出し記録して共有している。ケアポイントを本人の状態に合わせ変更し実現可能なものにしていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	6	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	6	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	7	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	6		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
①②③ケアポイントは普段の関わりの中でできている。3  
利用者の話を聴く。  
本人ができることを支援している。  
利用者の状況をミーティング途中でも連絡しあっている。  
日々の～したいは利用者との関わりの中で知り支援を行うことができた。業務日誌やタブレットで職員間の周知もできている。  
ケアプランや本人、家族の希望するニーズに対しケアポイントを一人一人設けてあるため関わる際に活かしている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
①②③コミュニケーションをとれる利用者はごく限られている  
本人の目標を知りそれに近づける支援ができていない 2  
多忙な時は意識できていない時がある。4  
本人の状態が変わっても目標がそのままになっている時がある。  
本人の目標を把握していない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
状態が変わったら目標を見直す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年3月1日

3. 日常生活の支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	9	1		12人

前回の改善計画	日頃のかかわりから好きなこと嫌いなことのさらに新しい情報を得て、職員間で共有し支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	日頃のかかわりから「好きなこと嫌いなこと」を挙げ職員間で共有し支援につなげた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	6	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	8			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		10	2		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	6	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	8			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
③ ④ ⑤	基本的にはご本人に意思等を確認しながら支援を行い、ご本人の選択を尊重しながら対応できていると思う。体調の変化、食事や入浴、排泄など基本的な介護 4 本人の状態やその時に合わせた必要なケアを職員間で共有できるよう申し送りや記録ができています
①	好きなこと嫌いなことを普段の関わりの中から情報を得て、職員間で共有している。本人のできるできないを確認しその人のできることを支援する。 2
⑤	食事形態などは本人家族からの情報で日々変え対応した。席の配置などは本人の気持ちを大切にして変えている。コロナ対策に注意している。利用者の観察は日々行っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②	以前の暮らし方、生活環境の把握ができていない。 8
	ミーティングであまり意見を言わない
④	利用者の変化に気づけていない。思い込みで利用者の声を言語化している
	共有しなければならない情報を伝え忘れている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
情報伝達するツール、口頭、タブレット、職員会議、連絡ノート、ミーティングなど、大事な情報は繰り返し伝える。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年3月1日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		9	3	1	13人

前回の改善計画	今ある資源の有効性を見直し、連携を継続していく。 家族より、自宅での過ごし方を聞いたら情報を職員間で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	“今ある資源”とは、特別なものや、無理やり作るものでもなく、その人の生活の中に元々あるもので、必要に応じて連携し有効活用していくことが必要だとわかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	7	5	1		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	7		2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	4	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	4	5	2	12

できている点	人間関係の大切さを理解している。 迎え時家族から自宅での様子を聞き、職員同士で共有している。 4 事業所としてはしっかり行えていると思う。 職員間の情報共有は連絡ノート、記録で行えている。 2 家族や近所の方、地域にある資源を必要に応じて連携しながら共有できている。 ラインを使い通い日以外も本人の情報を得ることができている。 病院の受診送迎、美容室送迎など行っている。
--------	---

できていない点	限られた利用者の迎えや訪問での話だけなので情報が不十分である。 地域との連携があまりとれていない。 本人が家でどう過ごしているのかあまり把握していない どのように活動してきたのかわからない。 本人が在宅で過ごせるよう地域との関係を深める資源の活用。そのために必要な資源を把握していない。 3
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今ある資源の有効性を見直し、連携を継続していく。 家族より、自宅での過ごし方を聞いたら情報を職員間で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 3 月 1 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	9	2	1	13 人

前回の改善計画	訪問を引き続き増やしニーズに即した支援をしていく。 地域のイベントに参加することを継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	訪問体制強化加算をつけている。訪問を増やすことや訪問の必要性がわかった。コロナ禍のため、イベントには参加できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	5	2	4	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	3		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	8			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	6			13

できている点	<p>地域資源を使っの支援など全般            家族からの連絡や日々の様子、観察、随時対応している            利用者一人一人のニーズに合わせて支援している。変化があればそれに合わせた対応ができている 3            訪問時本人の体調の変化、その日の変化、話の傾聴を行っている            訪問時一つ一つのことをチェックし支援することを忘れていないかももう一度見直す            すぐ対処できる要望に対応することはできている。            訪問後リーダー報告、タブレット入力で情報共有できた。            泊まりも状態に合わせて柔軟に支援できた。            利用者に合わせて訪問（東京まで迎えに行くことがあった）            個別に対応し、業務外と思われる仕事も対応している。</p>
--------	--

できていない点	<p>地域の資源を使った支援 2            人あたりの通い日数が多い。            職員が少ないため、利用者「ちょっと待って下さい」と言ったり、訪問も2人連続の訪問もあり、時間ばかり気にすることがある。            時間がかかる要望は後回しになっている。            コロナもあり地域のイベントにはあまり参加できていない(それでも餅つきや花見はできる範囲でやっている) 2</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>訪問を引き続き増やしニーズに即した支援をしていく。            コロナ状況を見て、地域のイベントに参加できる時はしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年3月1日

6. 連携・協働

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8	2	2	12

前回の改善計画	会議の内容をタブレットの記録に <input type="text"/> 入力し、職員間で情報を共有する。職員会議でも発表していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議にて引き続き取り組みの発表、報告を継続していく。連携・協働などは職員に関心を持ってもらえるように会議・連絡ノートを通じて報告している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	3	4	2	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	3	3	4	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1		6	5	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	2	3	5	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 訪問リハや受診先等他の機関との連携が必要に応じ、連携が取れている。 管理者とケアマネが参加している 3 職員間で情報を共有する 職員会議で情報を得ている 2 4爪切りの支援 2
--------	--

できていない点	担当者は参加しているかわからないが、自分自身は参加していない 地域活動に参加していない 4 自分の意見を会議などで発表できていない 職員会議の内容を共有できている 登録者以外の高齢者や子供等の地域住民が事業所を訪れることはない 2 会議の内容は発表されていない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 会議の内容をタブレットの記録に <input type="text"/> 入力し、職員間で情報を共有する。職員会議でも発表していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年3月1日

7. 運営

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	8	3		13人

前回の改善計画	提案や意見を職員会議などで自由に発言できる雰囲気作り。 私語を少なくし利用者中心の会話をするを継続していく。 意見、苦情などを職員間で共有し改善につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	連絡ノートで情報提供している。職員会議で情報を交換している。コンビニなどと連携を取った。私語は減らない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	8	4		13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	7	2		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	3	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		6	5	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員会議で、利用者に関してのこを行えている。 職員会議で自由に発言でき意見や提案を出せている。 会議でなくてもその都度、管理者や職員に自分の意見や家族からの話を伝えている。 意見箱の設置で意見を言うことができるようになった 2 意見・苦情は連絡ノートやタブレットに入力し共有した。会議でも対策を話し合っている 3 私語が少なくなっているように見える
--------	---

できていない点	コロナ禍で行えていない 私語が多すぎる 利用者中心のケアができていないことがあった 3 地域との交流はない 苦情は最近ない 2
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 提案や意見を職員会議などで自由に発言できる雰囲気作り。 私語を少なくし利用者中心の会話をするを継続していく。 意見、苦情などを職員間で共有し改善につなげる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年3月1日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	1		13人

前回の改善計画	研修で学んだことを実践で活かしていく。 事故発生時は、事故報告書をもとにリスクについて検討し再発を防いでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議での事故報告を各担当者に発表してもらうようやり方を変更した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	7	3	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	4	4	13
③	地域連絡会に参加していますか		1	5	5	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		8	2	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること リスクマネジメントは会議の時に共有し支援につなげている（連絡ノートにも記入されている） 利用者の行動を見て転倒防止などにつなげている 事故報告書を基に再発防止に努めている 7 避難訓練を毎月行っている 職場内のOJTは入社3ヶ月間行っている オンライン研修 小さな傷でも発見した職員が周知するために事故報告書を書いている
--------	--

できていない点	研修は大事だが数日経つと自己流になってしまう 研修がない 2 研修を行っていないを職員はその内容を周知できない 事故になる前のヒヤリや気づきにあまり重点を置いていないように感じる
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 事故発生時は、事故報告書をもとにリスクについて検討し再発を防いでいく。 事業所目標の一つに、質の向上をめざすことを挙げた。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 3 月 1 日

9. 人権・プライバシー

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	4		12 人

前回の改善計画	成年後見人制度が必要な利用者がいれば学習の場を設ける (現在は対象者はいない)。職員の声の大きさ、トーン、話す距離にも配慮する (特に排泄のことを話す時)。頻回に注意を喚起しているが時々声が大きくなる。
前回の改善計画に対する取組み結果	時間がなく対象者もいないため成年後見人の学習はできていない。職員の声のトーンが大きくなるよう注意を喚起している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2			13
②	虐待は行われていない	11	2			13
③	プライバシーが守られている	4	7	1		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3		1	5	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	4	1		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 人権やプライバシーは守られていると思う 2 職員で共有している 身体拘束、虐待をしていない 2 身体拘束をしない分事故のリスクが高い方がいるが、未然に防ぐ対策や共有ができています
--------	---

できていない点	5 トイレのドアを開けたまま介助してしまう時があった 成年後見人制度 声のトーンが大きすぎる 6 利用者に対しての言葉が汚い 利用者の前で他の利用者のことを話している 本人に合せた配慮ができていないことがある 個人情報は利用者の手の届くところには置いていない 話す言葉に気を遣っているのが見える
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 成年後見人制度が必要な利用者がいれば学習の場を設ける (現在は対象者はいない)。職員の声の大きさ、トーン、話す距離にも配慮する (特に排泄のことを話す時)。頻回に注意を喚起していく。あうんの呼吸で動けるよう目配せしあう。
---------------	---